

長崎市在宅支援リハビリセンター

1. 長崎市在宅支援リハビリセンターとしての和仁会病院

障害のある人や高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができることを第一の目的と考えています。そのためには、医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活に関わるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの観点から協力及び理解を深め、地域リハビリテーション活動を支援していく必要があります。

当施設の強みは、医療保険分野において地域包括ケア病棟と回復期リハビリテーション病棟を、介護保険分野においては、介護老人保健施設中の里、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションを有しており、そこには経験豊富なリハビリ専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)を数多く配置して、回復期から生活期の支援を行ってきた実績があります。また、長崎地域リハビリテーション広域支援センターの協力病院として、長崎市中央・東部エリアのリハビリ専門職および介護支援専門員・介護福祉士などを対象とした、スキルアップのための研修会を企画・実践してまいりました。

そのような中、長崎市は平成29年10月より長崎市在宅支援リハビリセンター推進事業を開始し、当施設も東長崎地域包括支援センター及び日見・橘地域包括支援センター区域の担当として指定をうけ、これまでの経験を活かしながら以下のような取り組みを行っていきます。その内容についてご紹介します。

(1) かかりつけ医との連携づくり

当院の地域包括ケア病棟には、かかりつけ医からの紹介で入院患者を受け入れています(在宅療養後方支援病院)。症例を通して、お互いの【顔の見える関係】の構築と地域における病院機能の役割を確認し連携を深めています。必要に応じてかかりつけ医との合同研修会(情報交換会)を企画し、連携強化に努めます。

(2) センター外部のリハビリ専門職への支援体制構築

2025年に向けて、今後の長崎市の人口構造・社会保障費などを理解し、リハビリ専門職が果たすべき役割を学習する機会を提供しています。特に、地域包括ケアにおけるリハビリ専門職の多職種連携や自立支援のマネジメント力の強化に力を注ぎます。

(3) 介護従事者のリハビリテーションに係る知識技術の向上に資する事業

高齢者の身体機能の特徴や廃用症候群に関する理解を促し、お世話型介護から自立支援型介護へリハビリの視点に基づく介護方法や、現場で活用できる介護技術の講義・指導を行っています。

(4) 介護従事者のリハビリテーションに係る相談と同行訪問

地域ケア会議において、対象者の解決すべき課題を明確にすることに貢献します。また、地域の高齢者の生活上の問題点に対し、相談及び同行訪問というかたちで対応しています。

その対応は一定水準を満たした経験豊富なリハビリ専門職が、ケアマネージャーやかかりつけ医と連携しながら行っています。

(5) 高齢者の自主的な活動に対する参加促進

地域のサロンや自主グループにリハビリ専門職を派遣し、認知症予防・転倒予防などの講話や運動指導、体力測定などを行っています。今後の長崎市の人口構造と社会保障費について理解してもらい、自助・互助で実践できるように支援しています。



2. 相談窓口担当者

担当：當麻俊久

3. 支援に関わる専門職

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

4. 連絡方法

TEL : 095-839-2051 FAX : 095-837-1230

メール：wjzaitakureha@gmail.com

※急ぐ場合を除いて、Eメール又はFAXでのご連絡をお願いします。